

黒 鷹 志

CHRONICLE OF
BREAK BLUE

BLAZBLUE
RESPECT COLLECTION
FOR ADULT ONLY



STUDIO TIAMAT PRESENTS

私は
マイリーナツメ

魔導書の力で
女の子になった
元男の子

紆余曲折を経て
現在タロ先輩と
お付き合いをして
おります♡

これまで
何度もデートを
重ねたりー





今ではこうして
キスだって自然に
出来ちゃうように
なりました♡

ん…♡
ちゅえ

逆転した自身の性に
戸惑い悩んだのも
すっかり過去の話…

初めての時は
意識出来なかった
けど…

男の人の唇も
結構柔らかい
んだ…♡

現在の自分を
受け入れてからは
(かつての)同性に
対する抵抗感は殆ど
無くなったと思う…



そっく…

うん…

うん…

んう…

ああ…
また来た…

あははは

舌を絡めて
混ざり合った
互いの唾液は—

好

「超味覚」を通じて
高揚した思念へと
変換され—

思

恋

想

あ…

ほっ

ほっ

ああ…

愛

甘

んはあ…

全身を駆け巡り
私を陶醉の世界へと
誘うのです…

この
感覚…

あし…
今日も
うきうき
……

キスから
先へと関係を
進めようと
思います…

そう…
それは…
つまり…

こ…
こ…
事…

前から思ってたけど
マイマイの肌って
本当キレイだよね…

ここなんかも
ツルツルしてて
触り心地良いな…♡

どんな事するか
大体知っては
いるけど…

う…
覚悟と裏腹に
やっぱり
恥ずかしいなあ…

優しく
いくね…?

むん

ずる…

あ

わ

あ

あ

あ…あぁ…♡

んあ…あぁ…
は……っ♡

スゴい…
女の子になって
初めての感覚…♡

んく…♡

他人に敏感な
部分を愛撫
されてる…

んう…♡

ん…♡

暖かい
舌先が…

う…あ♡

ん…♡

なか
膣内でゆ…♡
蠢いて…

ふあ…♡

あ…っ

はぁんっ♡



マイマイの
その声：
初めて聞いた…

舐めてコレなら
本番…どうなっちゃう
かな……？

ああ…
ついにこの時が
来たんだ…

は…

は…

先輩の
オチ○チン…
あんなに大きい…♡

かつては…
私も持ってた
モノが…

今…私の
女の子の膣穴に
挿入って…

ん…

ん…

ん…



かはっ

これは…
予想以上に…
キツ……っ

けど…
腔内を支配する
この逞しい存在感は
何というか…

腔内を
掻き分けられる
破瓜の痛み…

ぬぐ…

みじ…

みじ…

ぬぐ…



あ...♡

たまらな...♡

気持ちの良い...

はあ...♡



ハハ...♡
良かった...

俺...マイマイが
辛そうだったら
どうしようかと
思ったけど—

ふあ...!?

これなら
続けても問題
無さそうだ♡

あっあ...っ

あ...♡



スゴい...
お腹の中で...
ミチミチに張った
モノが暴れてる...♡

タロ先輩のが...
私の...女の子の
大事な部分を...
こんなに掻き回して...

あ...♡

アッ! アッ! アッ!

アッ! アッ! アッ!

あ...♡

あ...♡

アッ! アッ! アッ!

アッ! アッ! アッ!

アッ! アッ! アッ!



男の子だった頃は
想像すら
出来なかった…

自分が男の人に唇や…
おっぱいや…
オ…オマ〇コを…

こんな風に
いっぺんに
責められる日が
来るなんて…♡



へへ…♡
マイマイの
フカフカ
おっぱい♪





ん……ん……♡
解ってた事……
だけど……う……♡

男の人って……
本当に女の子の
おっぱい……好き
なんだなあ……

スゴい夢中で
吸われてるよ……♡

じゅぽん

じゅぽん



オマ○も……
どんどん切なく
なってる……



こんなに……
一生懸命……
美味しそうに
吸われると……

何と……
愛しい気持ちに
なっちゃう……♡



せ…先輩…
タロ…先輩…♡

いいの…
マイマイ…?

ヌルッ

はっ…
はい…っ

ヌルッ

もっと…激しく
して…良いです
からあ…あ…♡

先輩の…
思うように…
突いて下さい…っ

先輩の…
もっと欲しい
…から…♡



ハハ♡
マイマイって
スゲーエツちな
娘だね…♡

うああん♡
だって…先輩
だから…んっ♡

あっ

はっ

あっ

先輩だから
欲しいん
ですう…っ♡

あっ

はっ

はっ

はっ





ああ

ああ

んんん

んんん

んんんんん

んんんん

んんんん

その後も
私は――

先輩と
睦み合っ
ている……

この格好でするの
ドキドキしますね
先輩……♡

袖を通すのは
卒業以来かな……♡

うんうん♡

その格好の
マイマイも
可愛い♡

じゃあ早速
お願いしよう
かな♡

先輩との行為を
重ねていく内に……

私は
ノエルの手料理に
続いて――

このオチ○チンの
味の虜になっ
ていた……♡





あっ

あっあっ
んっっ♡

先輩...っ♡

はっ

先...輩い
...っ♡

あっ

あっ

気持ち良いです...
先輩...あ...っ♡
んっんっ♡

私の身体あ...
どんだん...
先輩のに馴染んで
いってる...っ♡

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

うあっ

あっあっ
あっあっ
あっあっ
あっあっ
あっあっ
あっあっ



くああっ♡

マイマイ...っ

俺...またそろそろ...っ

ほっ...♡

ほっ?♡

ハハ... ヤバいな俺も... 完全にマイマイにハマってる...♡

こんなになんて全然萎えないんだもん...♡

そ...うです...か...? なら...

これから... いつでも... こう...して...♡

おれ

おれ



良いよ
マイマイ…
俺もいくから…



せ…先輩…
ん…はうっ♡

私…また…
またイキそ…う…
あ…あ…っ♡



はっ
はっ
はっ



…また今日も
たくさん
射精しましたね…

そうだね♡

この調子だと…
そろそろアレ…
かな…

ん？



ゴホッ

ゴッ…



その…これだけ
毎日…^{なか}腔内に
射精してもらって
だから…

流石に…
デキちゃったり
するかも…って…

ああ…
そういう…



嫌じゃない…
です…

かあ…

タロ先輩との
赤ちゃんなら…
私…

たくさん…
欲しい…♡



それって
マイマイは
嫌？

俺は…

え…!?



…



マイマイ…
お腹苦しく
ない…？

今は…
安定期…
ですから…♡

んっ

んっ

んっ

んっ

あっ

あっ

あっ

んっ

んっ

んっ

んっ

そっか…

でもこれからは
少し控えた方が
良いかな…？



そのかわり
今夜はガッツリ
イカせるから♡

それは少し…
寂しい…
です…う…♡

産まれる
までの辛抱だよ
マイマイ…♡

ん…♡

んっ

んっ

あっ

んっ

んっ

んっ

あっ

んっ

んっ

んっ



身も心も
満たされて
いく...

私...女の子に
なれて本当に
良かった...♡



続きますよ♡...

いこまごも...



ああ...

この
幸せが—



マイマイ…
ずっとポーっと
してたんだよ?

?

おろろ

?

まじ

ここは…?
え…私…先輩と
子供達と…!



大丈夫
マイマイ?

あれ…先輩?

はっ

マイマイ?

ぽ



前のデートの時も
こうだったけど…
本当は具合
悪かったりする?

え…あ…っ
もしかして…
私…また…

あ…

あは…は…

※「超味覚」によって
昂ぶった意識は度々
向こう側へ
行ってしまっ



先輩…
すすすすすす…
すみませええええ
ええ—んっ

あれっ
マイマイ
どこ行くの!?

マイマイ…っ
マイマイ—イっ!?

故に
キスから先に
進む事が
出来ず—

私マイリーナツメは
恥ずかしながら
未だ処女



カグラの
兄貴……

俺……マイマイに
嫌われてんの
かな……?

けっ
向こうから
チューセがんで
きてんだろ?

だったら
心配いらねえよ

何だ?
いつぞやのガキ
じゃねえか……
知り合いか?

どうも皆さん、お久しぶり、初めまして。TANABEです。

この度は「CHRONICLE OF BREAK BLUE」をお手に取って下さり誠にありがとうございます。御座います。

今回は周囲から日頃せつつかれてた事もあり総集本を出す事を決めました。

サークルを立ち上げ、「BLAZBLUE」というゲーム作品と出会い、そのネタで描き続けて気がつけばもうすぐ10年になりますね。よくもまあ一つのジャンルでここまで続いたモノだと…。

原作も一つの終わりを迎えた事もあり、当方も一つの区切りと言う事でこれまでの既刊をいくつか纏めた訳ですが、いざ過去作を振り返ってみると正に黒歴史…(汗制作中に何度悶え苦しんだ事が…。とはいえ、こういった作品を作り続けてきた事で自身の成長は勿論、様々な驚きや転換期を迎えた訳で、各所で語った文言ですが「好きな事に打ち込む事の尊さ」を学んだ気がします。

先程も述べました通り、原作ゲームは終了しましたが、TANABE自身はネタが続く限り描き続けようと思います。皆様も宜しければ応援して頂けると幸いです。

また機会を見て既刊を纏めようとも思います。その時は色々手を加えたいなあ…

それでは、この辺で。

STUDIO TIAMAT代表 TANABE

NEXT **BREAK BLUE(2009)**

※一部台詞を変更しております。

おとなしく
縛につきなさいっ!!

ラグナ・ザ・
ブラッドエッジっ!!!!

ちっ

色んな意味で
やりにくい
女だぜっ!!

っうあ!!

おと
ろしく
縛
につ
きな
さい
っ!!

あっ!?





…駄目…

あ？



運が良かったな…
命があるうちに
とっとと消えな

まあ得物を
失くしちゃえば
これ以上続けられねえ
だろ…



あーあ…

ジュウウウウウ

あれじゃあ
カグツチの最下層まで
落ちたんじゃねーか？



べ…ベルヴェルグ…
私のベルヴェルグ…

駄目…あれが…
あれが無かったら…
私…

わたし…わたし…

わたし…ヴェル…
だいじな…

ノエルのだいじな…
だめ…ノエル…



ノエル…

もう…
おうちにかえれない
よお…

ほろほろ

ほろほろ

ほろほろ



お…おい？



…どうしよう…

かり



その辺ですりゃ
良いだろうがっ
そこまで世話
焼けるかっ!!

…やあ…
みられたら
はずかしい…

こんなゴミ溜めに
覗く奴なんかいるかっ

はあっ!!?

…おしっ…

ぷる

ああ…
ち…っ

かっ

あ…ああ…
あ…ああ…

ホカ

ホカ

ホカ

ホカ

ホカ

ホカ

やだあ…っ
いつもちゃんとした
おトイレでしろって
パトイママにいわれ
てるもん…

こんなトコに
公衆便所なんて
あるわけねーだろ!!
しのごの言わねーで!!
とつとつ用の足して
来いっつーの!!

あっや…っ
やだ…そんな
おしたら…も
もれちや…

もれ…あ…

ぷるる

ひぐっ…

!!



悪かった!!
兄ちゃんが悪かったから
泣くんじゃねー!!

ああー
はいはいっ
はいはいっ!!

ずび

おび

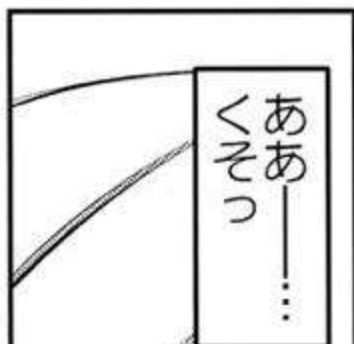


敵のお漏らしの
始末するなんざ



こんな
姿もねー
論じ

あんのウサギにや
死んでも見せら
んねーって



ああー...
くそっ



本当に
何やってんだ
俺は



じっとしてろよ...
ちゃんと拭かねーと
かぶれるからな...

...うん...



そっか...
こっか...
こめんね...
兄さま...

心配すんな
兄ちゃん
シンやシン
スターには
この事黙ってやる
から...



サヤのお漏らしの
後始末もやって
たっけ



ん…っ

…あの…
兄さま…

ノエル…



ん？ああ…
心配すんな

お前が漏らした事は
誰にも言わねえよ…



ほ…ほんと…？
パパとママにも…？

そうだよ
俺の知り合いに
こんなの聞か
喜ぶ奴いねえからな



…じゃあ
兄さまと…
ノエルのふたり
だけのひみつだ…

あは…♡

Wow



…それなんだけど
兄さま…



ノエル…
なんだか
ムズムズするの…

ズ
ズ

おまたがすごく
あつくて…
へんなかんじ…

ズ

!!?



—そういう
物言いまで似て
やがる…

くだらねえ事
言っただけで
さっさと拭き終え
んぞ…

ズ
ズ



おまたが…
じんじんして…
ひくひくしてえ…



や…

やりすぎたああ
っ!!



ほ…ほんの少し
ポ…っとしてたら
いつの間にか…

愛撫になってる
じゃねえかあっ!!?



へんだよ…
からだがあつ…
あつだよお…

ぬるぬるが…
とまんない…
ゆびが…とまん
ないよお…

じゅん…

はしゅん…

にゅん…





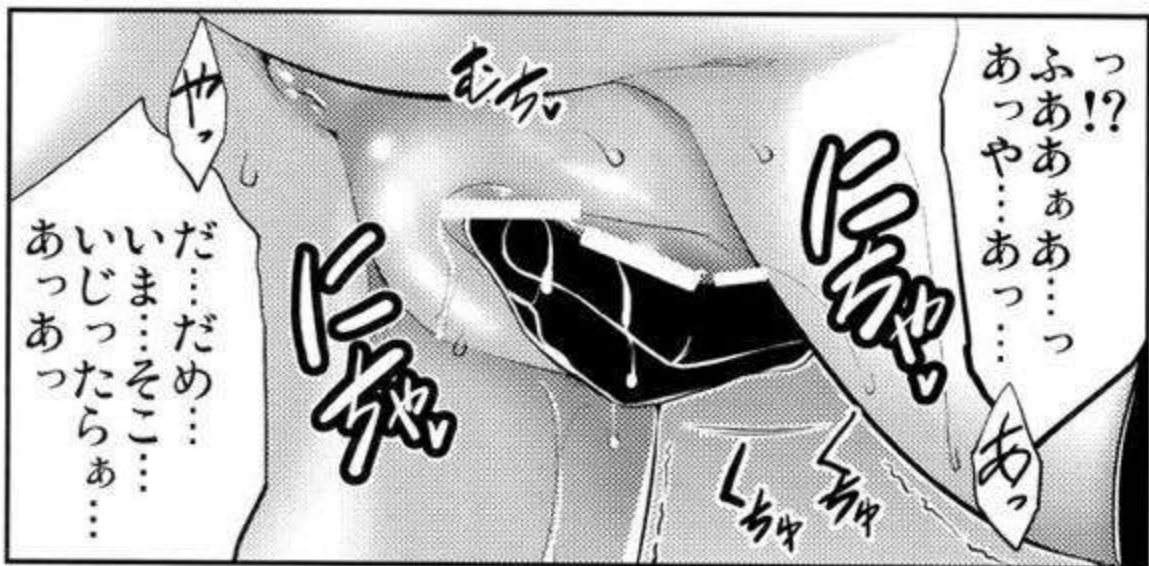
に…
兄さま…
なんでおっぱい…
すうの…?

ノエル…
まだミルク…
でないよお…
ふ…



ふああ…っ
な…なに…?

お…おっぱい…
じ…ジンジン…
する…



っ!?!
ふああああ…っ
あっや…あっ…

だ…だめ…
いま…そこ…
いじったらあ…
あっあっ



んんん

ふえ…

ほも



…ったく

ちやほ
ピーピー
五月蠅えつて
の…っ

んも…!?!



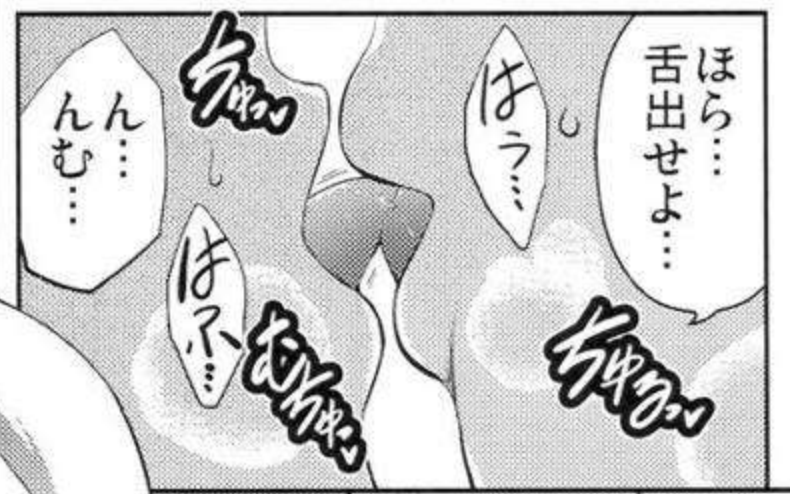
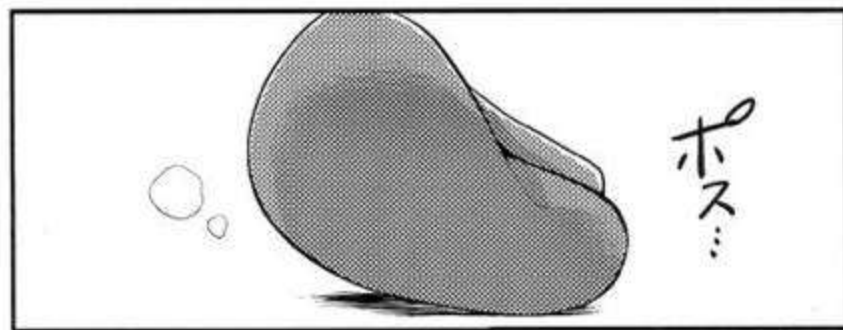
あ…っや…
に…にい…さま…
な…なんか…くる…

ほも

き…きちやうう…
ノエル…こわい…
こわいよ…あっ

ほ

ちやほ
ちやほ
ちやほ





え...ええ...? ほんとう...?

兄さまの... オオンチン...ノエルの ここにはいるの...?

パ...パパのより おっきい...かも...

ズキズキ

ズキズキ

おおよ... こうしちまえば スツキリすんじや ねえか...

まあ多少は 痛えかも知んねえ が...



え...っ いたい...?

ま...ま...って おにい...



ふあ...っ あっあっ...

や...き... きっ...う...



...まあ 少しの辛抱だ... 我慢してな...

いや...っ やあ...いっ... ああ...あ...



いた...い... いきが...かふ...

いきが...でき...な... くるしい...は... かは...



...ったく しょうがねえ ガキだな...

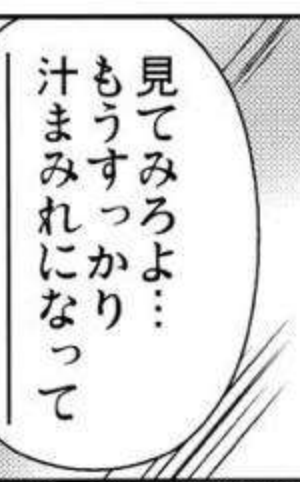
ほら... ゆっくり吸って みな...



い...いたい...っ やあ...いたいっ いたいよお...っ!?

おなか...あっ おなかきれ...ちや いたあいつ!!

言...つたろ...っ 痛...え...つて...



ちゅぽんあ
解れたんじゃあ
ねえのか...?

...ちゅぽん...

...ちゅぽん...

はっ...

ちゅぽん

ちゅぽん

ちゅぽん

はっ...

ちゅぽん

はっ...

ふあえ...?

はっ...

はっ...

ちゅぽん

何だよ
もうイキそう
なのか?

だったら
まずは一発
吐き出そうじゃ
ねえか!!

えっ...あ
あッ...

俺のに
ネット絡み
ついてるぜ...?

ちゅぽん

ちゅぽん

見てみるよ...
もうすっかり
汁まみれになって

な...なんか...
また...くる...きちゃうう...
なんか...でちゃうよお...
は...んっ♡

わ...わかんない...い...
ノエルのおまた...
まだ...ジンジンして...
あ...ん...

でも...なかで...
兄さまの...
オ○ンチンがヌルヌル
こすれてえ...

ちゅぽん

ちゅぽん



もお...
ぜんぜんいたく
ないのお...♡

はっ

はっ

ノ...ノエルの
あそこお...

にいさまの
オ○ンチンで
じゅぼじゅぼだよお...♡

みてえ...



お...おい
お前え...くっ

な...何だか動きが
激しくなってねえか
...!?



あっ...ん...わ...
わかんない...♡

けど...なんだか
きもちいいのお...♡



あっ

あはは

あは

ど...どおしよう...
ノエル...もっど
コレほしいよお♡

あっあっ♡
きもちいい...
オ○ンチンすごく
きもちいいよお...♡

はっ

あはは

あは

あは



オリエントタウンの
ゴロツキ共だったら
好きなだけ付き合っ
てくれるぜ…

え…?

や…



まったく…とんでもねー
スケベ娘だなお前は…
正直ドン引きだったの…

これだったら
別に相手が俺でなくても
良いんじゃないやあねーのか?

…ふえ?



…やあつ…
そんなの…

!?



そんなに良いなら
本気でいかせて
もらうぜ!!

んあつ!?

ん



…うち…

…ああ、もう
わーったよ…



ほかのひとなんて
やだ…こわいもん…
んく…

ノエル…
いいさまが
いいんだもん…

…お…
おい…?



…



へっ...どうだ
馬鹿野郎...っ

お前みてえな
スケベ娘にや
こんくらいが
ちょうど良いだろが...っ

う...うん...
うん...これ
好き...っ

もっとオオンチンで
おく...ずんずんして...
してえ...っ

お...おく...っん
ノエルのおくまでえ...
オオンチンがずんずん
してる...よお...っ

アハっ...
す...す...っよお
兄さまあ...っ



あっあっ…んく♡
はひ…っイ…すご…
しゅごいイ…ヒイ…♡

ノ…ノエ…はひっ…♡
ノエりゆのお…アソコ…
キエンキエンしゆるのお…♡
あは…は♡



は…あは…
だってえ…
きもちよくって…
こうなっちゃう…
んだもん…♡



こ…こんな…
アソコ…ジュポジュポ
しゆるのが…あ♡
きもちいいなんてえ…

パパも…ママもオ…
じえんじえん…
おしえてくれなかった
…もん…あっ…♡



何だよお前…
ひよっとしてさっきから
イきまくってんのか？
出し入れするたびに
締め付けてきやがるぞ
…？

んはっ



んっ...そ...
しゅ...く...い...の...
ん...んっ...♡

ノエルの...
おまたのおく...
こんこんしてる
のお...♡

にいひやまのお...
オオンチン...
また...おっきくなった
よお...♡

ねえ...きもちいい...?
ノエルのなか...
きもちいい...?

こいつ...
一丁前に子宮口使って
亀頭に吸いついてんのか...

む...子宮が
下りてきやがった...っ

さっきまで...
処女だったくせに...

く...確かに...
こいつの膣内...
絶妙に絡みついて
きやがる...









あ…は…♡

くああっ

X



あ…あはあ…♡
でた…ミルク…
でたあ…♡

ノエ…ノエリュの
なか…ビュービュー…
しゅごお…い…い…♡
あは…あは…♡

は…♡
オオンチン…ミルク
あ…たかあ…い…♡

ひっ

はっ…

ノエル…
にひやまも…
オオンチンも…
だ…だいしゅき…♡

ひゅっ…
はっ…



…けどまあ
からの道放つとけねー
から仕方ねーか…

結局俺一人で
探さなきゃなんねー
のかよ…

…ったく
事が済んだら
のん気に寝ちまい
やがった…

す…
す…



助かったぜ
誰だか知らねえが
恩にき

おおっ
それだそれ!!

散歩中に偶然
そこで拾ったの
だけれど...



探し物は
これかしら?



なかなか
興味深い
場面
じゃないか?

あらあら...

ドドドド

これまで
長いこと貴方の
動向を観てきたわ…

それなりに
貴方の事を理解した
つもりだったけど
その見解は改める必要が
あるわね…

ウサギ…
ウサギ…
てめえ…
いつからそこに
いた…？

あら
別に一部始終を
見てた訳じゃ
ないわ

ここに
立ち寄ったのも
ただの気まぐれ…

でもそうね
しいて言うなら…

貴方がお漏らしした
この娘の陰部を
とうんどうんしてた
あたりからかしら？

!!

数多い人間の
持つ性癖の一端を
垣間見た感じよね
姫様♡

本当…
実妹に似てるって
だけで実際
あそこまで欲情
出来るものなの？

狂気と愛欲の暴帝
カリギユラも全裸で
逃げ出す好色っぷり
ね…

鬼畜っスね
ラグナ・ザ・
ブラッドエッジ

ふがががががが
ががががががが
ががががががが

手前えらっ

黙って聞いてりゃ
好き勝手に…っ

ふざけるなあっ!!

ザッ
ザッ

!!?

兄さんに
トゥントゥンさせられて
良いのは…

オオ

僕だけだ
ろっつがっ!!!

とんっ!!!

NEXT

**BREAK BLUE
CON-DOM SHIFT (2010)**

※一部台詞を変更しております。



やめ...

らいごうよ...
ラグナ!!



なつこに
なつこに...

ないつぱい...?
ないつぱい...?
ないつぱい...?
ないつぱい...?
ないつぱい...?



あつ...
危ないっ!?



に...
兄さん...っ!?

兄

ああああ

ああ

ああ





だ…誰だそこに居やがるのはっ!!



「こころは
「黒き獣」の中
だよ

境界に落ちた
ミミとラグナの中の
「獣」が融合合つて
出来た空間なの

ここにはミミと
ラグナしかいない
んだよ

だからミミ...

は？

ぴんぽん

誰にも邪魔されずに
いっぱいH出来る
んだよ♡

はあっ
!!!

ざけんなっ
何だそりゃあ!!
何で手前えと乳練り
合わなきやならねえ!?

大体
俺と手前えは...

もう
終わったん
だよ?

ラグナの戦いは
終わったの

...へ?

ミミ
ね...

いつもこの時を
待ってたんだよ
ラグナ...



だってここには
ラグナを傷つける
ものはひとつも無い
んだから…

今俺……

安……心……
したのか？



ここならもう
とラグナが
殺し合う必要も
ない…

ラグナはもう
痛い思いも
苦しい思いも
しなくて
良いの♡

—何だ？



ラグナの右腕…
元通りだよ…？

ほら見て
ラグナ…

こいつと…
殺り合わなくて
良いって…



ラグナ…



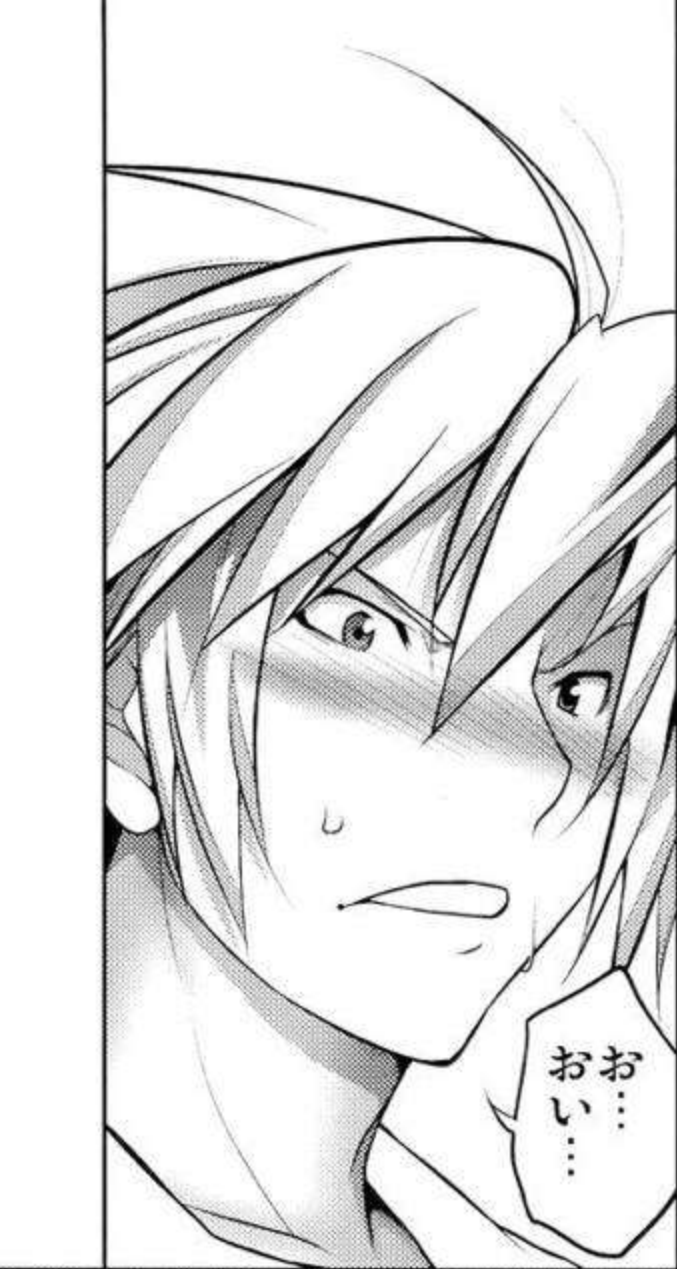
ずっと昔に
切り落とされた
んだよね…

すごく
痛かったでしょ…
悔しかったよね…
憎かったよね…



ヒキ…

刺…



何で…

はア

コイツは俺にこんな顔見せれるんだ…？

俺と手前えは…

ん♡

…俺は
し

先刻まで散々殺し合ってたじゃあねーかってた!?

しゅん

ん…
あや
ん…
しゅん…
も



まだ
始まったばかり
なのに随分感度
高いじゃあねーか…？

ら…ら…ってえ…
ラグナの…手…
なんらよお…♡

♡…すこく…
嬉しくてえ…は…
気持ち良いのお…♡

もう
いったのか？





あ...あふあ...♡

んあ...

あふあ
あふあ...♡

あふあ
あふあ

はっはっ

んん...

ねえ

あ...♡

はっ

ふあ...♡

ねえ...

に...の...もつと
クチユクチユ...ふあ...
ああ...あつ...イ...
イクっ♡

うあつ...あつあつ♡
ら...ラグナあ♡
そこ...ん...もつとあ♡

...まったく
スケベな身体
してやがる...

ほれ
乳首なんて
ピンピンに
いきり立って
るぜ...?

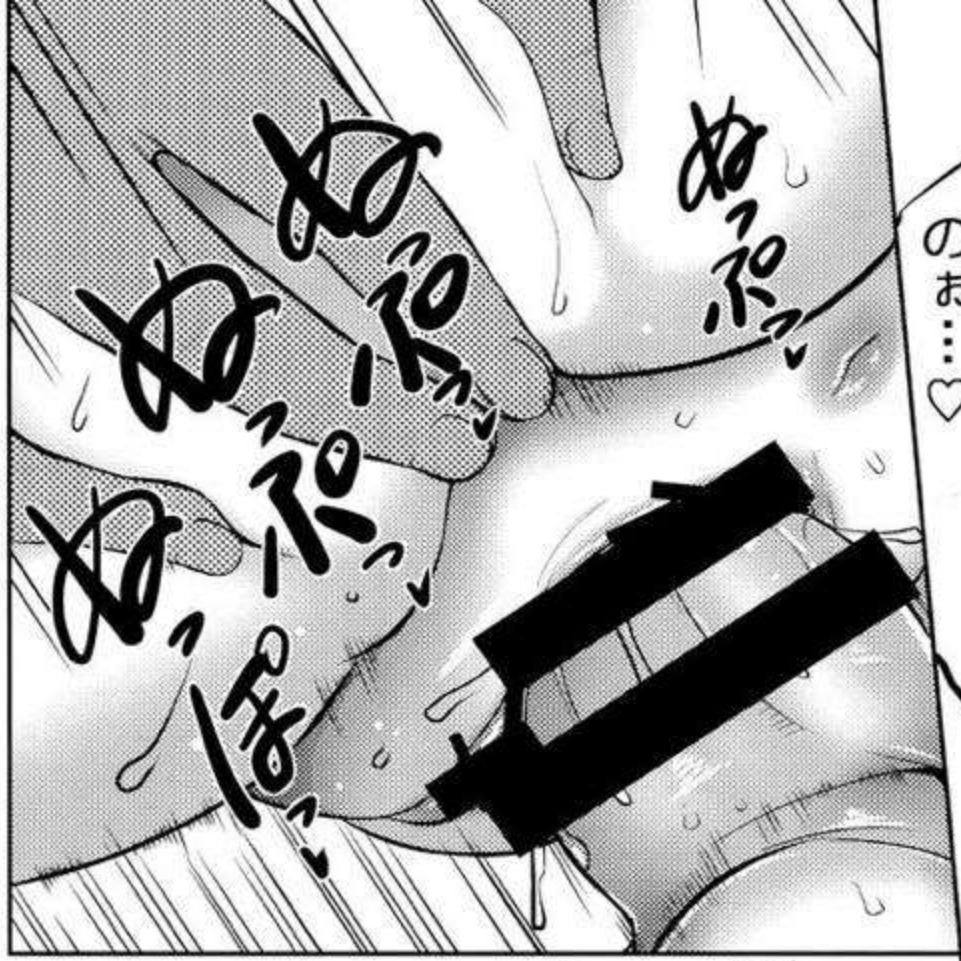
あふあ
あふあ
あふあ
あふあ
あふあ











に…の腔内あ…
ジュポジュポ擦って…
奥…コンコンする
のお…♡

ふああ…♡
あっあっあっ♡
これ…良い…好き♡
す…しゅきい…♡



お前と…
こうして抱き合おう…

初めだか…
しねえんだ…
の気が…

…妙な気分だぜ…



あーっ

そして…この肌や汗の味も…

あーっ

…頭のどこかで覚えてるんだよ…



は…っ

髪の毛の香り…

吐息の香り…



おかしいよな…

この唇や唾液の味も…



!?

それって…何だか嬉しいな…



だって…それほどVの身体を好きになつてくれる…って事だもんね…

Vの…感触が…すっ…すっ…とラグナの魂に記憶されてる…んだもの…♡



…お前…何を言ってる…

はっ



今は…何も考えないで…



Vに…ラグナの…いっっぱい感じさせて♡

Vの…すみずみまで…味わって…♡

ラグナの好きに…メチャクチャにして良いからあ…っ♡

Vといっぱい…融け合お…あっ♡





なあ…
お前…

やっぱり
何か知って
何を
してるんです？

ラグナ・ザ・
ブラッドエッジ

げえっ!!?
お…お前えは
…っ!!?

あ、
一体

ノエル・
ヴァーミリアン
…だっけ?
何でここに…!?

…さあ
解りません…

あの時「窯」に
落ちかけた貴方に
追い継ろうとした
はずみで一緒に
落ちたみたいで…

気がつければ変な
格好で見た事の
無い部屋で
ひとりぼっち…

右も左も解らず
ようやく知ってる
人を見つけたと
思えば…何を…



不

不

不

お…落ち着けっ
俺にも現状が
何なのか…
あれ?

兄さまと
いっぱいHしたい
んだからあつ!!!!

ノエルだって…

※前作を参照下さい

お…おい…
お前…あの鉄砲は
どうした…?
確か…あれ無かったらお前は…

わ…
わたしは…
わたし
だつてっ!!

ば









そうだよ兄さま
ノエル…まだまだ
頑張れるよ…?

お…おい…

どうしたのラグナ…
そんな難しい顔して
ないでもっとしよ?

…そろそろ
いくぜ…

本当…
変な気分だ…

…くそ…

：お前ら…
何でそんなに
俺に懐いてんだ…

俺らはもともと
斬った張ったの
間柄だったろうが…

んも…！
さっき言ったよ？
もう終わったって

むぶっ
ほっ

そっだよ
それに
兄さま何気に
優しかったよ？

ほら：外の世界じゃ
色々不自由して
出来なかつた事が
ここでは好きだけ
出来るんだよ…？

ほっ達の
いいっぱいマ○コ
いいから…使っ
て♡

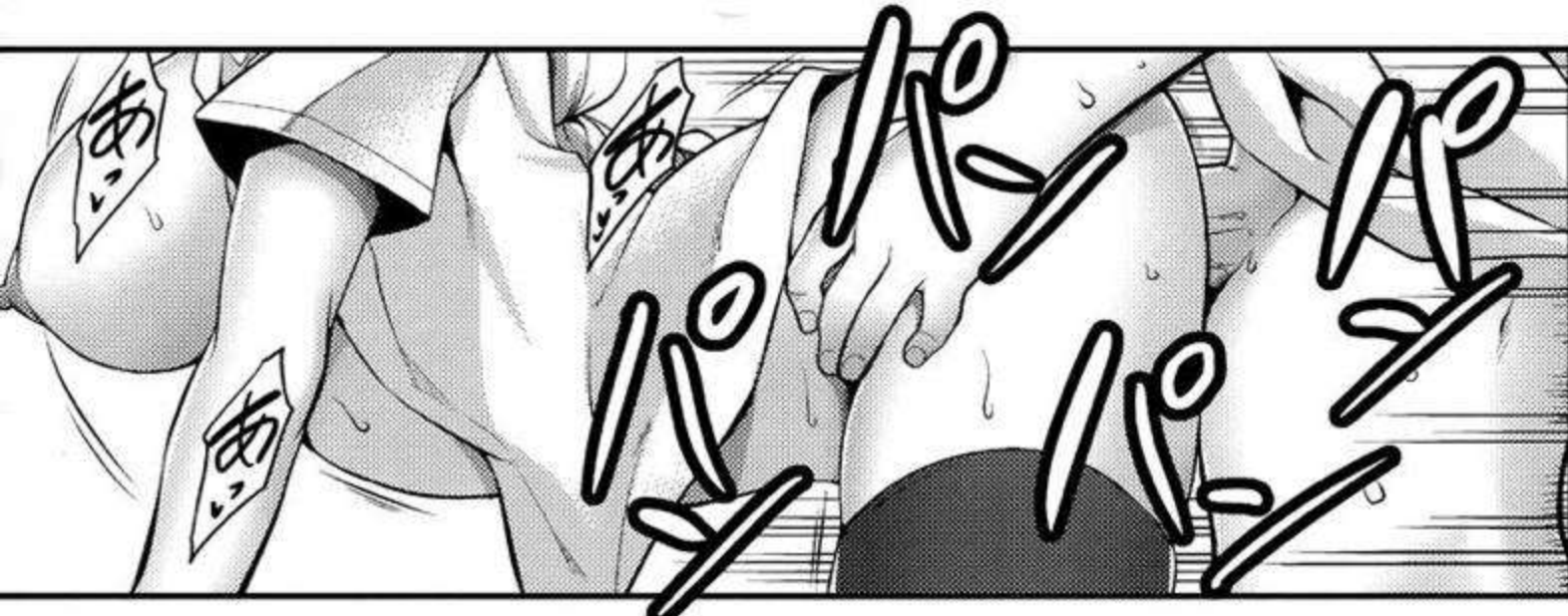
ほっ

ほっ

とんぱん

来て…
兄さま…♡

ノエル達と
いっぱい
気持ち良い事
しよ♡



あーあーあー今度こそ...

一緒にいて

♡

あーあー

あーあー



一緒に...



あーあー...

今度こそ...

あーあー



ん...



あ...

あ...



ラグナ

…行っちゃおうの？



外の世界は
事象管理システムに
支配された無限螺旋…

…との接触を「終点」に
また同じ「起点」へと
戻される…

うん…
気付いたんだ
ね…
そう…
ラグナは何度も
ここに来てる…



俺…前にも
ここに来たん
だな…？

それも一回や
二回じゃねえ…
そうなんだから
…？





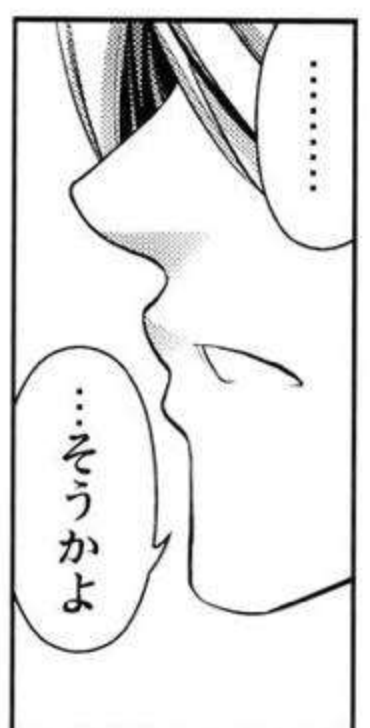
ラグナっ

ならここを
出りゃあ
もう一度…



つまりここは
「終点」と「起点」を
結ぶ「境界」って
わけだ

妙な既視感や
この元の右腕も
ここなら説明が
つくか…



…そうかよ



ここにいれば
ラグナはもう
悲しまない…

いつだって
ッがラグナを
守ってあげる…
今はッ達かな…?

あんな憎い世界
なんてほっとこう
よ…



やり直しなんて…
もうしなくて良い
んじゃないかな…

何回やっても
ラグナは嫌な思いを
重ねてここに来てた…

世界は
よってたかかって
ラグナを苛めてた
んだよ…?



「俺」はここに
何度も来たって
言っただろ?

つまりその都度
「俺」はこう思って
たと思うぜ…



…でも

やっぱ
駄目なんだわ



ああ…
そうだな…

正直…
ガラにもなく
思ったよ…

ここでお前らと
過ごすのも案外
悪くないってな…

ラグナ…

なら…
ここだ…



毎度毎度
すまねえな...

俺行くわ



ラグナ...



そう...だよな
...うん...

ラグナは...
そう決めたら
止められない
よね...

せ



このおまじや...

オ
キ
ニ
...

絶対に
終われねえ
ってな



それなら一緒に連れてってあげて

え...あ...戻ってる...?



その娘は^{ミー}と
同じで特別だから

もしかしたら
元の世界に上手く
戻れるかも知れない



.....
...なあ

お前えはまた
ずっとここに
いるのか...?



うん...^{ミー}は
自分じゃここから
出られない

次はいつ
出られるのか...
ここではそんなの
意味無いけど...



...でも



^{ミー}
淋しくないよ...

だって...
ずっとラグナの
夢を見続けてるから

いつか...

本当にラグナと一緒になれたら良いな...

ア

ア

ア

よってたかって世界に飛ばされてんのは...

淋しくねえ...
だと...?

あんな顔して
説得力なんだ...
あるかってんだ...

これまで何度も
俺にブチ壊されて...
それでも無邪気に
笑って...

一度だって俺に
恨み節を詠いも
しねえ...

俺よりも
むしろお前の方だぜ
レ...



ああああああんっ♡

だわばっ!!?



じ…ジンっ
手前え…何で
ここに居やがる
っ!?

フッフッフ…
愚問だねっ

兄さん居る所に
ジン在りだよっ!!

それより何だいっ
兄さん…あの
破廉恥な行為は!?

僕という者がいながら
そんな屑とあんな屑と
あんな…
にやんにやんする
なんてっ!!?

にやんっ!!?



おい…お前…
またこの間みてーに
覗き見を…?

まったく…っ
何て汚らわしい
女共なんだろうね!?

まあでも
仕方ないか…

兄さん…
馬鹿が付くほど
優しいから…

あの屑共があまりに
憐れだったから堪らず
情けをかけてしまった
だけなんだろう?

うんうん
僕には全て
解ってる…

でも案の定
あの屑共じゃ
兄さんの相手は
勤まらないよね?

やっぱり兄さんを
満足させられるのは
この僕しかいないと
思う訳さっ!!

という訳で兄さんっ
そんな屑なんてそこらに
うっちやらかしてさあ

僕とにゃんにゃん
しようよ——っ
♡

はははははは

はは

はは

にゃん
!!!



第拾壹番素体に
十三番目を?

危険では
ないのか?

万一に
暴走したら…

それなら
記憶除去に
幾重の調整を
掛けてるから
心配ない

ハクメンが消えた今
我々には代わりになる
手札が必要なんだ

どの道
ユウキ・テルミが
生きている限り

誰もこの舞台から
降りる事など出来は
しないんだからな

さあ起動ろ
ラムダ
Λ・11

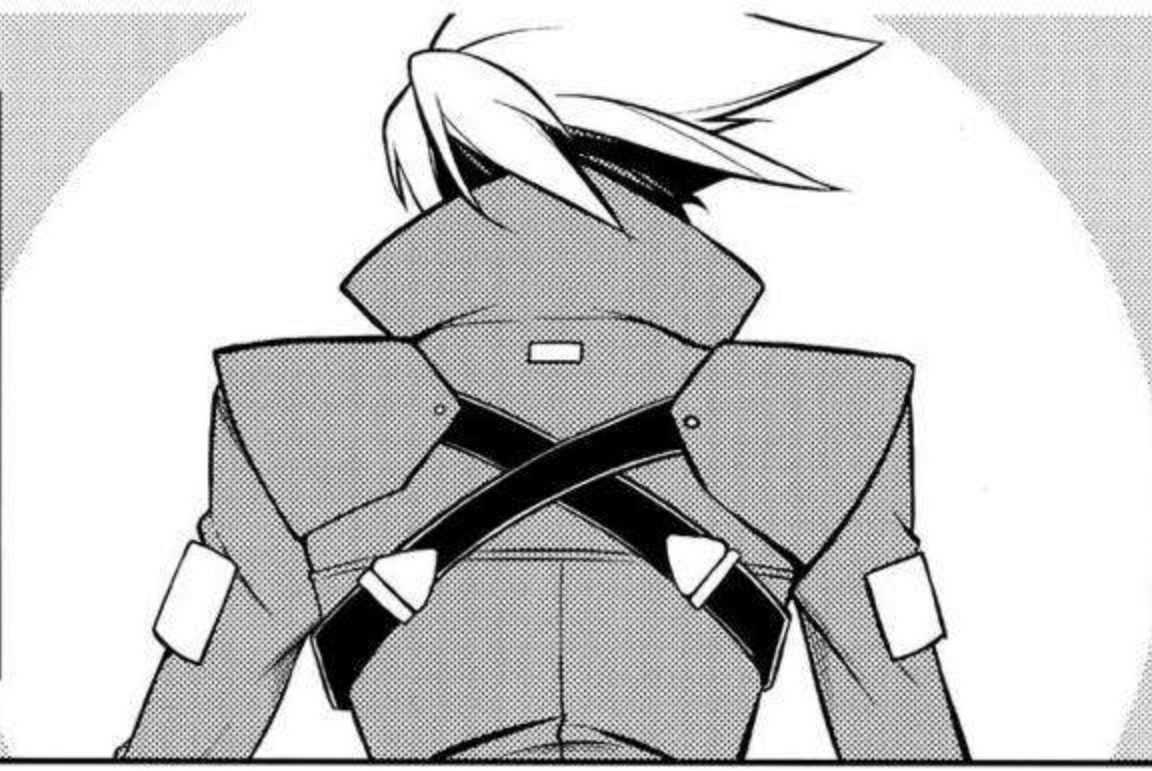
ラクナ…

きつじ逢ふに行へよ…

NEXT

**BREAK BLUE
RAGNA-LOCK (2010)**

天国のシスター
お元気ですか
ラグナ・ザ・ブラッド
エッジです



今日も最高額の
賞金首として日夜
統制機構と激しく
殺り合ってますが
一応元気に過ごして
おります

突然ですが
ご報告します

嫁が出来ました
(しかも複数)

正直、どこでフラグを
立てたか皆目
見当つきません

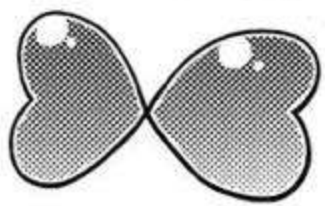


ガキの頃シスターはいつも
「嫁が出来たら大切にしろ」と
俺達に教えてましたね

こんな時：
俺はシスターの教えに
従うべきなんでしょうか…

【モテメガネ】

アルカード家に
伝わる魔道具。
これを身につけた者は
たちまち周囲の異性にモテる
という。時に同姓も惹き付ける
ちなみに着け心地の良さのあまり
本人は装着してる事を認識
出来ない。



——とまあ
こうなった
以上：

彼の占有権を
いつまでも
争うのは
不毛だと思ふの

それより誰が
彼の嫁として
最優か勝負する
のはどう？

お嫁さん
勝負？

それって…
お料理対決…
とかですか？



何を
言ってる
小娘共
最優の嫁と
言ったら如何に
優秀な子供を多く
産めるかだろ？

ええっ!!?
極端な!?



何を驚く？
種の繁栄も進化も
全て生殖行為を
起点にしてる
だろ？

つまり
子作りは
重要な要素だ

おいっおいっ
おいっ!!?

子作りって
何だっ!?
まさかお前ら…

勿論これから
総当りで貴方の
精子を搾り取る
のよ♡

さらりと
恐ろしい事を
言うな馬鹿っ







さすが博士…
肉体改造で生殖に
最適化…いえ特化
させてるんだわ…

うあっデカっ
その上…長っ
!?!?

イライ…

!!



私からお先に
失礼します…

マコト…
皆さん…
すみません…



ラグナさん…

…とこも
辛そう…

ニギミ…



えっちよつと
ノエルん…
本気なのっ!?

ほ…
本気だよっ

旦那様が
こんなに苦しそう
なんだから

奥さんとして
ちゃんと癒して
あげなきゃ…

もぞ
もぞ



それに…
ラグナさんとの
赤ちゃん…

私…
絶対欲しい
もん…♡

ラグナさん…
私…一生懸命
頑張りますから…

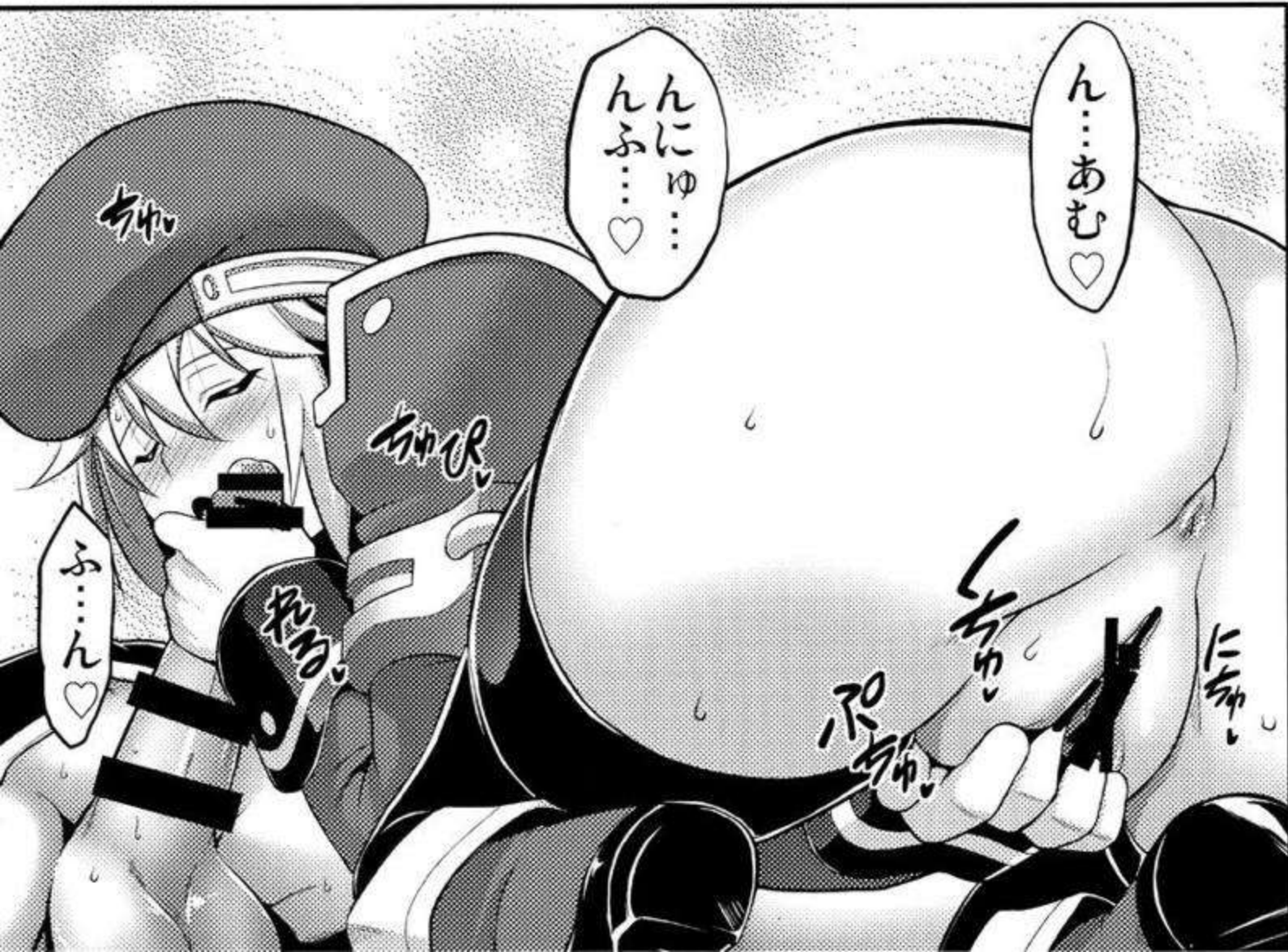
いっばい…
孕ませて下さい
ね…♡

は…
は…
れ…



ああ…あの
引っ込み思案の
ノエルがあんなに
いやらしく…

少尉さんて何気に
ムツツリなところ
あるんじゃない?

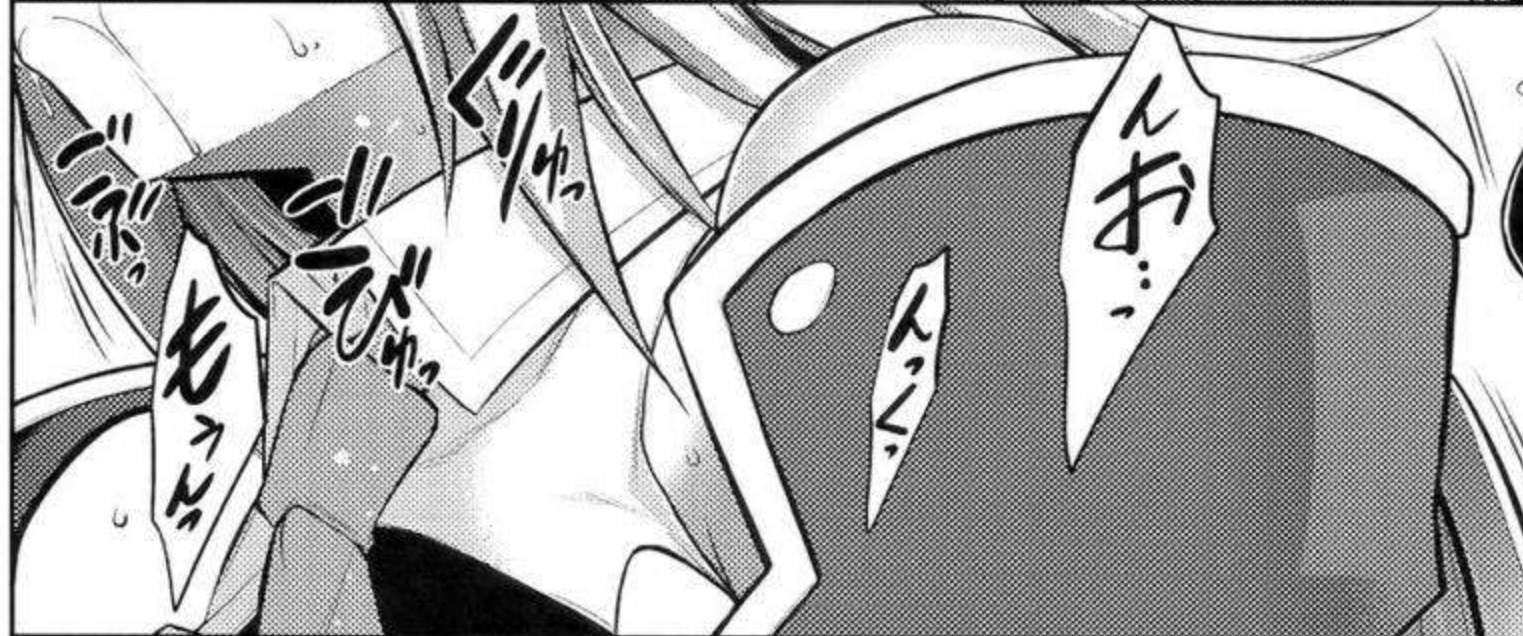


ん…あむ♡

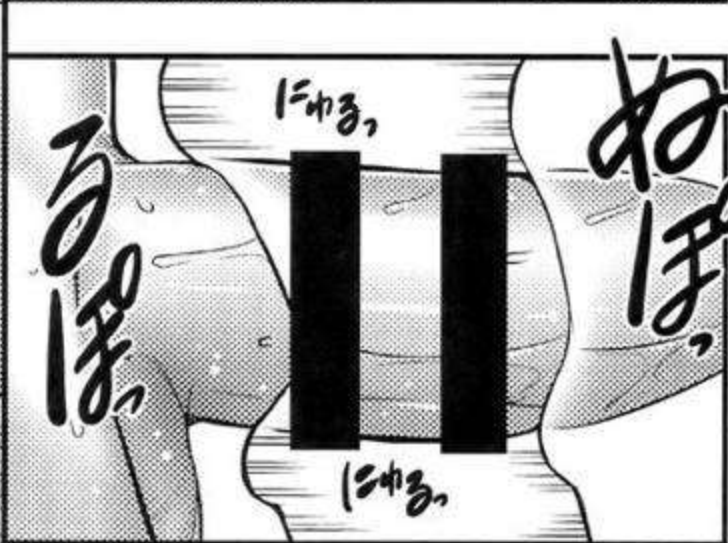
んにゅ…
んふ…♡

ん…
ん…
ん…

ふ…ん♡



うえっ
ちよつとノエル…
平気っ!?





あつ
うあつ
♡

ふあああ...
あつあつあつ♡

んあつ♡



あーっ

あ...っんっ♡
と...届いてる...
んんっ♡

ラグナさんの...
膣内の奥...た...
叩いてえ...あつ♡





はっ...
激しすぎ...

んあ...
これ...すぎ...



子宮...潰れ...
潰れひやうう...
ふあっああ...っ♡

んああああっ♡
駄目...だ...んあっ♡
らめえ...っ♡



あは♡
いっけない…

調子に乗って
外れちゃった♡

途中だった
のにご免ね？

でもどうせ
射精だすならこっち
の方が良いでしょ？

よさっ♡

好きなだけ
射精だして良いから
しっかり当ててね♡

ぽちっ

ん

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…

んんん…



ふあ…ん…♡
挿入…てる…
あたしの…
オ○ンコお…

ラグナ君の
オ○ンチン…
ヌポヌポされて
るう…♡



マコト…
とっても
可愛い…♡

す…



あっんっ♡
スゴい…これが…
交尾なんだ…♡



ノエル…♡

はんむ…
はん…♡

あーっ♡
こんな風に…
ビンビンの…
オ○ンチンでえ…
ふあ…あっ♡



ふあ…♡
やだ…ち…
乳首…アムアム
しちや…駄目…♡

あーっ♡
オ○ンコ…
ゴリゴリ擦られ
ちやうんだ…
あっ…ん♡



んっっ♡
スゴい！孕ませる気
満々で膣内を暴れて
るっっ♡

こんな…
凶暴なモノで
あの娘たちを…
泣かせてたのね…♡



んあ…ん♡
駄目よラグ…ナ…
そんな…♡

オンコ…
掻き回しながら
乳首…吸ったらあ…



私も…
吸っちゃおう♡
子宮でえ…
貴方の精液…
うあ…♡
ああ♡

あああ

びゅん
びゅん
びゅん

じゅじゅ
ぽちぽち



シミュレート完了
——プロセス実行

エラー
——再度
実行——

エラー

エラー

エラー
エラー

ラ

グ

ナ

——ユニット内部に
識別不明の信号多数

感覚神経系統に
断続的なエラーを
検知——

——現状で最適な
システムの復旧プロセスの
シミュレート開始





いやさ…
あんたとこう
する事は今更
嫌じゃねーんだ
けどよ…

うーん…

ん…
どうした?

ちゅ
ちゅ
る…
ちゅ



ただこれで誰か
途轍もない奴を
敵に回すんじや
ないかと思っよ…

そうか…?
別に機関に親しい
奴は居ないがな…
ティガーはあくまで
部下だしな

取り立てて私を
気遣う身内も
居ないしな…

ん…!?
か



なら
あと気になるのは
一つだけと…

何だ…
あむっ!?



…そうかよ
それなら
それで良いん
だ…



っ!



それなら…
心配ない…

アイデア機関？

貴様の闇の力は
人のアイデア機関が
封じてるからな…



お前ら結構な時間
俺と一緒に居るけど
体調に影響は無え
のか？

知っての通り俺の
魔道書は他人の生気を
常に手当たり次第に
ドカ喰いするからよ

対事象干渉兵器
として私が人に
組み込んだものさ

アレが傍にいる限り
我々が貴様に
喰われる事は無い



へえ…あの
ムラクモユニットに
そんなもんが…

!?

憂いは晴れたか
ブラグナ・ザ・
ブラッドエッジ…

ではこれで
心置きなく
子作りに励む事が
出来るな…？

おし：
んじや壁に手え
ついて尻を向けな...

す...

ん...

ほら：
準備は
出来たぞ...

遠慮なく
頼む：
ラグナ...

あははは！

くっ...

へえ...

一丁前に
尻尾も誘って
やがるんだな...

なでなで

んぎ

っ!?

お...おいっ

茶化してないで
さっさと挿入れ
ないかっ!?

っ分かったの...

おんぎ...
おんぎ...

ん...

う...んぐ...





ふあ...?

しゅわん



ず

ず

ず



おお...
スゲ...

しゅわん

入口と奥で
それぞれ締め付け
てやがる...

ず

ず



似合わない
事を...んっ♡

ば...馬鹿っ
こんな時に...
あっん...



な...っ!?

ス!

あんた...
案外良い匂い
すんだな...
カカ族とは大違い!



びゅるびゅるびゅる



良いじゃねーか
直接流し込んで
やるからしっかり
孕めよ...

そんな風に...
言いながら...
突かれたらあ...

一層...
啜え込んで...
受精...しひや...

しゅわん

しゅわん

きゅん

きゅん

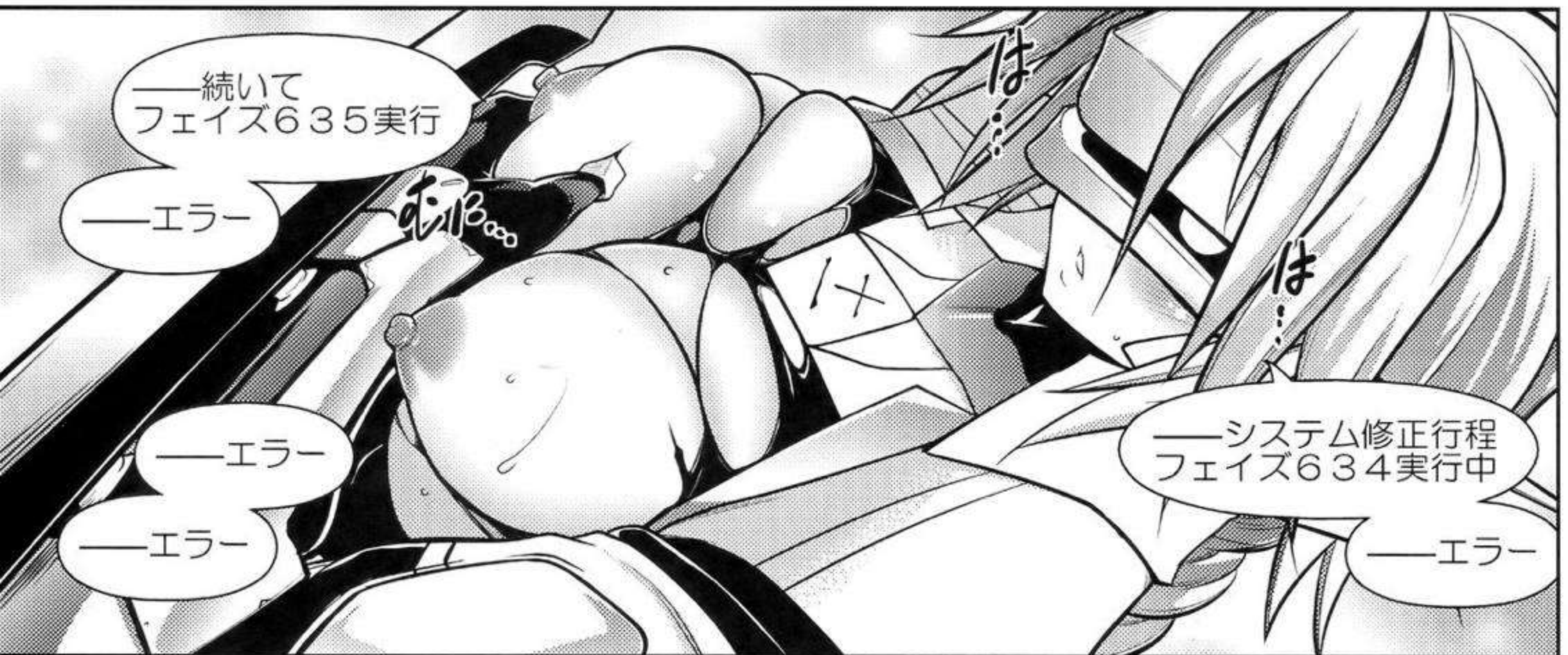
ず

ず

ず

ず

ず







ん…
局部エネルギー増大
…に比例して…

んう…どうよ…
こうすると具合
良くなるか…？

内部統制…システム
…安定化を…検知…

たぶん

たぶん

たぶん

たぶん



ラムダ
…人の膣内…
気持ち…良い…

ラグナ…
もっとオオンチン…
擦って…♡

…まあこんな
もんか…



なあ…もう少し
解る言葉って
言えねえか…？

—了…解

対象に最適な
…言語…検索…



お前まさか…
…なの…のか…?
…

うんっ♡



わー♡

ラグナだー♡

へ!?

アッ…



謝る事ないよ
…とつても嬉しい
から♡

悪い…色々
事情があつて
こんな事に…

ゴッゴッ



あ…



ラグナの…
…の…内…で…
…固…く…な…つ…た…

みぢぢ…

ぬうっ!!



夢みたい…
境界の外でラグナと
逢えるなんて…

それも
ラグナの方から
…とひとつになつて
くれてる♡

ぬ…っ…
これはその…

アッ…



悪い：何回か
射精してんだが
一向に萎えねえ
んだ：

ん：
：良いよラグナ

こうしなきゃ
辛いならいくらでも
の身体使って：♡

…本当に
悪い：



あっあっ♡
んっんっ♡

んっんっ♡
んっんっ♡



ああ…このまま
射精し尽くして
お前も孕ませて
やるよ…っ！！

あはっあん♡
嬉しい♡
♡孕むう…♡
ラグナの
赤ちゃん♡
いっぱい産むう♡



は…♡ねえ…
気持ち良い…
ラグナ…？
の…
オ〇ン…

ラグナの…
楽になるまで…ん♡
抜かなくて良いから
：ね♡





あ…♡
射精てる…♡

あ…

は…

ふ…

ほ…

とろっ

とろっ

ふる

ふる

…レ…
ありがとな…

お前のお陰で
大分薬の効果が
弱まったみてーだ…
これなら
すぐに元の
イチモツに…
ぬっ

あ…やだ…♡
あ…赤ちゃんの素…
溢れて…零れちゃう…
よお…♡

ラグナの…精液…
の気持ち良いところ…
トプトプ…止まんない…♡



!?



嫁候補

嫁候補(?)

ゴッゴッ
ゴッゴッ
ゴッゴッ

まさかあんな大勢の嫁抱える事になるとはよ...

しかしどうしたもんかな...

↑これのせい

...そもそも何で俺こんなモテてんだ?

は...初めて赤玉見たぜ...

げそ...

まさか人形まで相手させられるとはよ...

ぶらぶら

↑これのせい

テ...
テルミっ!!?

おやおやおやその分じゃ大分ハッスルしたようですね?

ああっ!? 誰だそこにいるのはっ!

...なっ

手前え…つ
よくその薄汚ねえ面
俺の前に晒せたなつ



あゝあゝ
近寄らないで
くれますか?



せっかく
特注の入浴剤で
清めた身体が
イカ臭くなるじゃ
ないですか♡

しかし適当に
事象干渉して
第拾貳番素体を
誘き出すつもり
でしたが…

まさか
こんな面白い
展開を観る事に
なるとはねえ…



これも
確率事象の一つと
云う訳ですか…

…何を訳の
分かんねー事を…

どっちにしろ
ここで会った以上
生かしておく理由は
無いな…



そんな空つけつの
身体じゃあ3秒も
もたねーんじゃあ
ねーのか子犬ちゃん
よおつ!!?

テルミ
いいいいいい
いいいいいい
いいいいいい!!!



へえ…
元気ですねえ…

…と言っても





マタタビ(100%配合カカ温泉の素)の匂いがするニヤすうーっ♡♡

ウロホロ

スえつ!!



ハザマ(テルミ)ハイレムエント(確定?)

ニヤァー♡♡♡
ニヤァー♡♡♡
ひんええええ

ま...か...



こんな
おまけ
で
大丈夫か？

「こんな奴の嫁に姉さんが
なるだって…？許せない…」

「僕がこの手で…姉さんの
感触を忘れさせてやる…」

んう…

ちゅるっ

「ん…んく…♡こんな…
こんなキスで僕の姉さんを…」

「ふむ…んん…♡あれ…
何で…甘いんだろ…ん…♡」

あむ…

「ひ…な…何…？
中でゴリ…ゴリ…熱いのが…
ビ…ビュルビュルって…」

「ひ…いや…嘘…
何で…僕…今…
き…気持ち…良いって…
お…思った…？」

「…こんなもの…
姉さんに…
酷いよお…あ…あ…」

「ん…んちゅ♡ん…♡
こんなにされたらもう
僕ももらってもらう他
無いですね…」

「…仕方ないですよ…
僕から姉さんを離す事
なんて出来やしないんだ…」

「ん…勘違いしないで下さいね…
貴方が姉さんに相応しいか
僕がずっと監視するだけなんだ…」

「だから…そんなに
優しくしたって…
僕は貴方なんか…
あむ…ちゅ…♡」

終了



NEXT

**BREAK BLUE
BLOOD EDGE (2014)**



かはっ

か...



この俺を
殺してえんじや
なかったのかよ?



オウッ

っ...
強い...っ
一体なんなんだ
コイツは...っ!?

おいおい
だらしねえなあ
ジン?

この
程度の腕じゃあ
悪いけど
兄ちゃん——

殺されて
やれねえよ

は…

ははっ

突然 妙な姿の
ムラクモユニットが
現れたと思えば——…

貴様が兄さんだと…
それは一体なんの
冗談だっ!?

まさか
そんな戯言で僕の
動揺でも誘ってる
つもりなのかっ!?

このふざけた
茶番の仕掛け人は
誰だ人形っ!?

ハザマかっ!?

それとも
レリウス・クローバー
かっ!?



巡りの悪い頭で
いっばしに
吠えてんじや
ねえぞクソガキ

インテリ
ぶってんのは
外見だけか?

お…
が…



まあもっとも
これだけ正史と
かけ離れた姿じゃ
疑うのも無理無えか…

あぐ…っ

だが手前えは
根っこのトコで
実感は持てるはず
だぜ…そうだろ?

ご自慢の
「秩序の力」は
俺を認識して
どう感じてる?





僕のやるべき事は
一切変わらない…

兄さんは…
殺すだけだ…っ



!

天也



………
良いだろう…

仮に…貴様が
本当に兄さん
だとして…



それが本当に
手前えの望み
ならな………?

トキ
キ



!



ああ良いぜ…
とことん
殺り合おうじゃ
ねえか…

ただし…



第六六六拘束機関
開放

次元干涉
虚数方阵展開



…?
それはどういう
意味—

ぐっ!?

「ロード・E・O・S」
エンター・オブ・シエオル

な…!?

これは…
魔素…
いや違う…

き…貴様…
「罫」を召喚した
だと…!!?

一体なにを…!!?

「蒼の魔道書」
起動

これは…
「罫」だ…!!?

俺達兄弟が
白黒つけるに
ちよつど良い
トコによ…

なにを?

勿論
連れて行くに
決まってるだろ?







うわあっ!?

う...

兄ちゃん
俺だよ♡

今じゃ中身の
無え死体だかな

そう



ユ.....え.....
ユ.....

まともに扱えねえ
アークエネミー
事象兵器なんぞ
避けるまでもねえ

そ...
その傷は...

ユキ...
アネサ.....?





こりゃあ
仕置きがいるな...

ぬら

え...

ええ!?



おい
なに隠そうと
してんだよコラ?

う...
うああ...

あは♡
弟の租チン
発けくん♡

シラけさせんじや
ねえよ

あ...や...
やだ...あ...

歳相応に
ほっかむりやがって
カワイイもんだな?

おぼ

けけ

けけ



ああ… ひう…

や…やめ… そ…あ…

っせーな 男が女々しい声 あげてんじや ねえよ

「イカルガの英雄」様 ともなればヌイてくれる 女の一人や二人居る だろうがよ?

あの赤毛の女とか どうなんだよ?

ツ… ツバキとは… あ…

そんな… 関係じゃあ…



なんだよ… つまりは手前え 童貞かよ?

ふち…

なんとも つまらねー 野郎だー

なつと!!



い…痛い いた…!?

やめ…痛い… ああ…ひああ…!!

あああ…や… やめ…て…

あ…う うあああ…!!



やめてだあ? 弄るたびにチ○コ 硬くしやがって もっと勃たせて やっからせいぜい ヨガれや♡



うっわ
スッゲー♡

おお
射精た×2♪



おら...
こっちもサービス
してやるよ



ぬん



ふああ



うっわ...
びん



案外マゾの素養
あるんじゃないかねえのか
お前さ？

アナル穿られながら
初物のムケチ○ポで
盛大にイくなんてよ...



これからお前エを
 蹴り殺すにあたって
 どんな無様な死に様を
 くれてやろうか実は
 まだ決めてなかったんだ…



おっぴん…



オラ
 休んでんじゃ
 ねえよガキ

うあ…!?



兄弟のよしみで
 童貞だけは卒業
 させてやるよ♡

んで
 考えた結果…

アへ顔晒して
 腹上死つてのも
 面白そうだよなあ?



え…? へ…?



そら
 いっただっき
 まっすってな♡

うあ…
 え…ええ!?

ま…待って
 あ…やあ…っ



おっぴん♡



俺はな…
ここで死んで
魔道書に魂を
喰われたんだよ…

喰われた魂は
「境界」を通じて
「蒼」に還元される…

あそこは
「現在」「過去」「未来」
あらゆる「記録」が
寄り集まってるところ
だからな…



え…?

半端な自我は
簡単に溶けて
消える…



自我を
繋ぎ止める為に
必死で魂の中
にかき集めたよ…

ラグナ・ザ・ブラッドエッジ
手前自身に
縁のある「記録」
をな…

とりわけ
「次元干渉用素体」との
縁が強かったんだろう…

その影響でこんな
身体が出来上がり
ってわけさ…

あう…

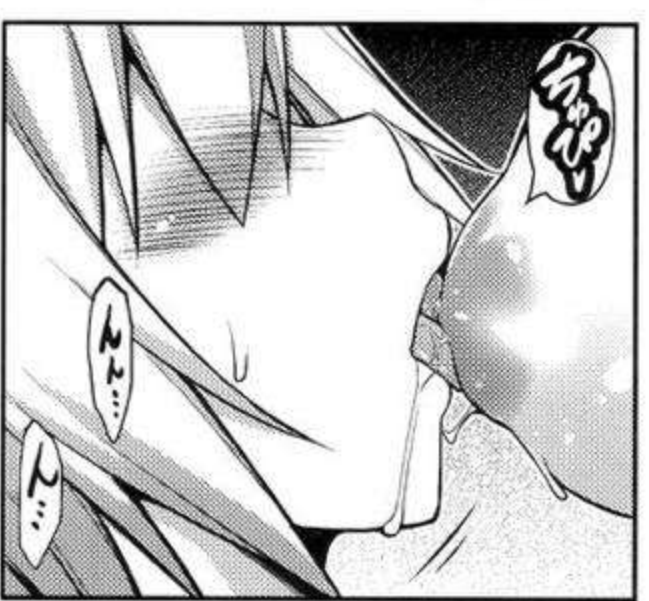


なんだよ…
生意気にも
反撃のつもりか?

単におっぱい
吸ってる程度じゃ俺あ
イかせられねえぞ…?



おう♡



逆に手前エの
租チンをイカせて
やるよっ♡



ひあ...
や...っ

ぼ...僕...
き...っ



なんだよ...
イキてえのか...?

良いぜ...
イ...ち...ま...え...っ



せり せり



殺してえ程憎い
兄ちゃんの腔内
不様に果てちまえっ

オラっ♡

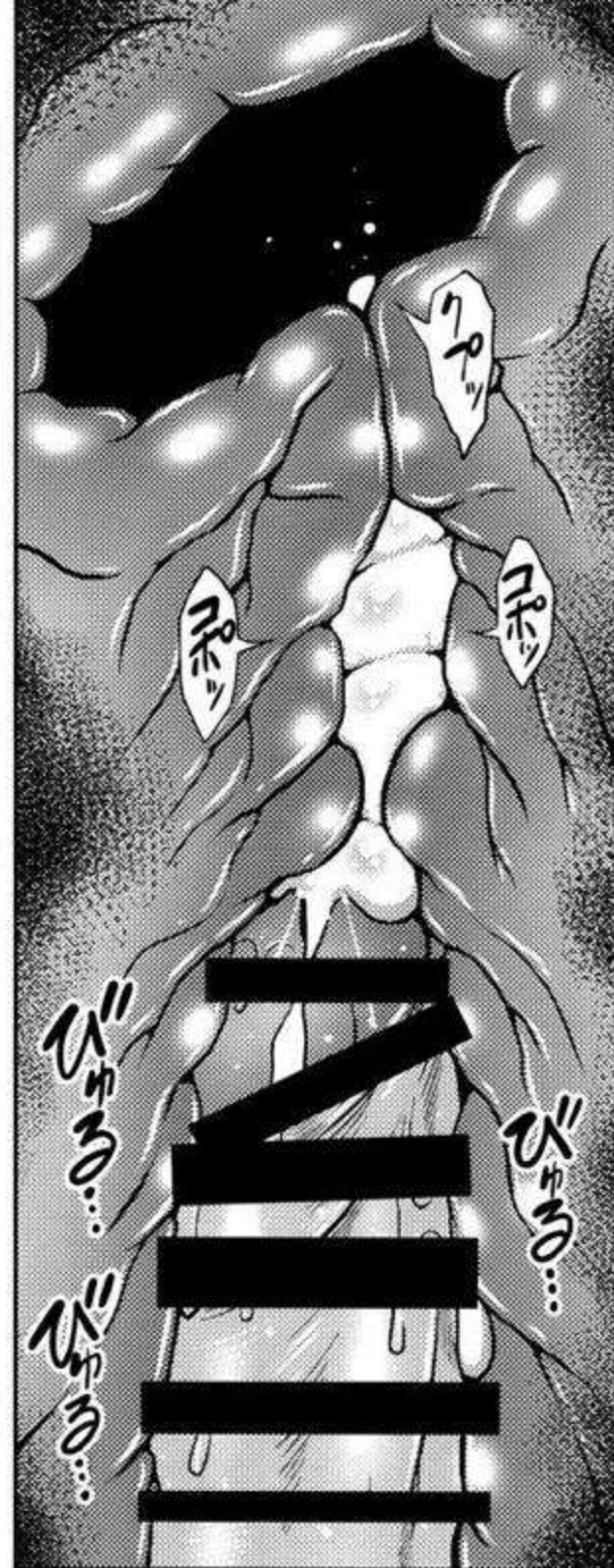
オラっ♡

うあああ...
や...やめ...っ

やめ...
き...っ...あ...
...っ

射青...
...っ

...っ
...っ





ふああっ♡



んく…
んく…
んく…
んく…
んく…



んく…
んく…
んく…
んく…
んく…



んく…
んく…
んく…
んく…
んく…



おいこら…っ
いつまでも
調子乗ってっど…

兄さん…
なにも分かって
ない…

僕は…
兄さんを憎んでる
わけじゃない…

ははっ



それでもしないと
兄さんは僕を
見てくれない…

兄さんは
いつだって妹しか
見てないじゃ
ないか…



逆に…兄さんに
憎んでほしかった
んだ…

ああ…?
んだそりゃあ…



兄さん…
優しいから…

それでも
しないと…



最初兄さんは弟妹を
平等に愛してたかも
知れない...

でもいつの間にか
優先順位が出来て僕が
二番目だって気付いたら...

なにがなんでも
僕だけを見て...僕だけの
兄さんでいてほしいって
思ってた...それで...

手前え...
馬鹿か...?



んな理由で
殺されちゃあ
堪んねえ...って
言いたいトコだがよ...

要するに
俺は...

自分が思ってるほど
良い兄ちゃんじゃあ
なかったって事かよ...

兄さん...?



実際のところ
この身体はあの
アヲネ
蟲野郎と同じだ...

一度「境界」に溶け
色んなモノが
混ざり合ってる...

今の行為になんの
抵抗も感じないのは
混ざり物ゆえに精神も
どっかブツ壊れてるから
だろう...

え...?

なあジン...

それは
こんな俺でも
良いのか...?



憎まれて
弑り殺されたきや
そうしてやる...

本当に望むなら
とことん殺り合って
やる...

俺の自我を支えたのは
「お前と決着をつける」
という妄執だけ
なんでな...

今となつては
俺はお前を憎んで
ここに居るのかさえ
判らねえ...



うぐ...っ

ここへ来る前の
俺の言葉を
覚えてるかジン?

ここで兄ちゃんを
孕ませる事だつて
させてやるよ...



は...
孕ませる...?

僕が...
兄さんを...?



今ここで種付けして
見事お前の花嫁に
してくれよ...♡

それが...
僕たち兄弟の...
決着.....



ああ...お前の
本心からの望みと
正面から
向き合う...

それでしか今の
俺はお前と決着を
つけられねえ...

だからもし
俺を手前えだけの
ものにしたって
なら.....





それに…
熱くてオチ○チン
溶けそう…あ…

うあ…兄さん…
スゴい締め付け…
だよお…っ



あ…アハ…♡
す…すげえな…
コレ…んっ♡

さっきよりも…
ん…腔肉…圧し拡げ
られてら…んはっ♡



いくらでも
チ○コ蕩けさせて
やるよ…っ

は…遠慮せずに
ガンガン突いて
きな…っ



これが…
兄さんの子宮
なんだ…っ

さ…先っほに
プリプリ
当たってる…

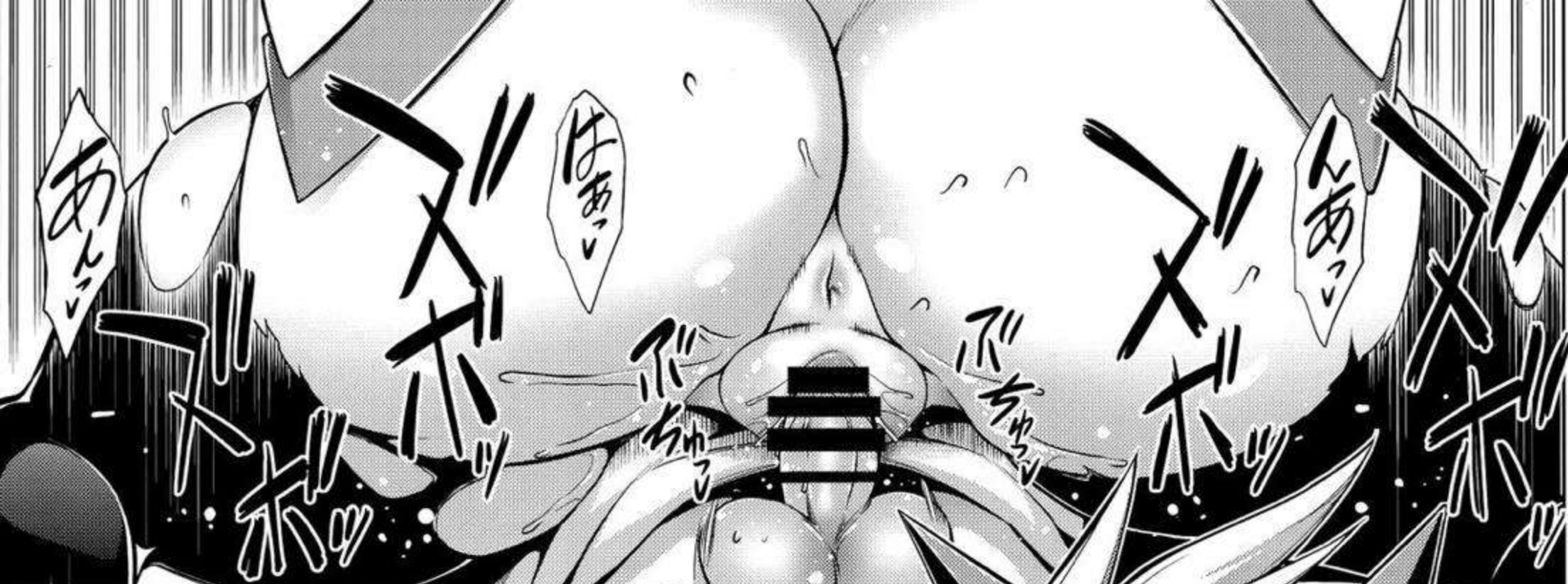


僕…絶対…
孕ませるから…

いっばい…
いっばい…
腔内射精して…

兄さんを
ポテ腹にして
僕だけの花嫁に
するからあ…っ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ



良いぜ…
来なよジン…♡

うは…♡
あ…イ…
いくのか…?

兄さん…
僕…もう…

ダメ…
射精ちゃう…?

俺…もう…
出来てっから…
弟の子供
孕む準備…
出来てっからあつ♡

兄さん…
兄さんっ
兄さんあんっ



ったく…
やるだけやって
即オネンネかよ…

オ…

オ…

オ…

童貞捨てても
やっぱ
ガキは子供か…



こくうじんおうぎ
虚空陣奥義

…なあジン

俺はさ…



雪風

ユキカゼ

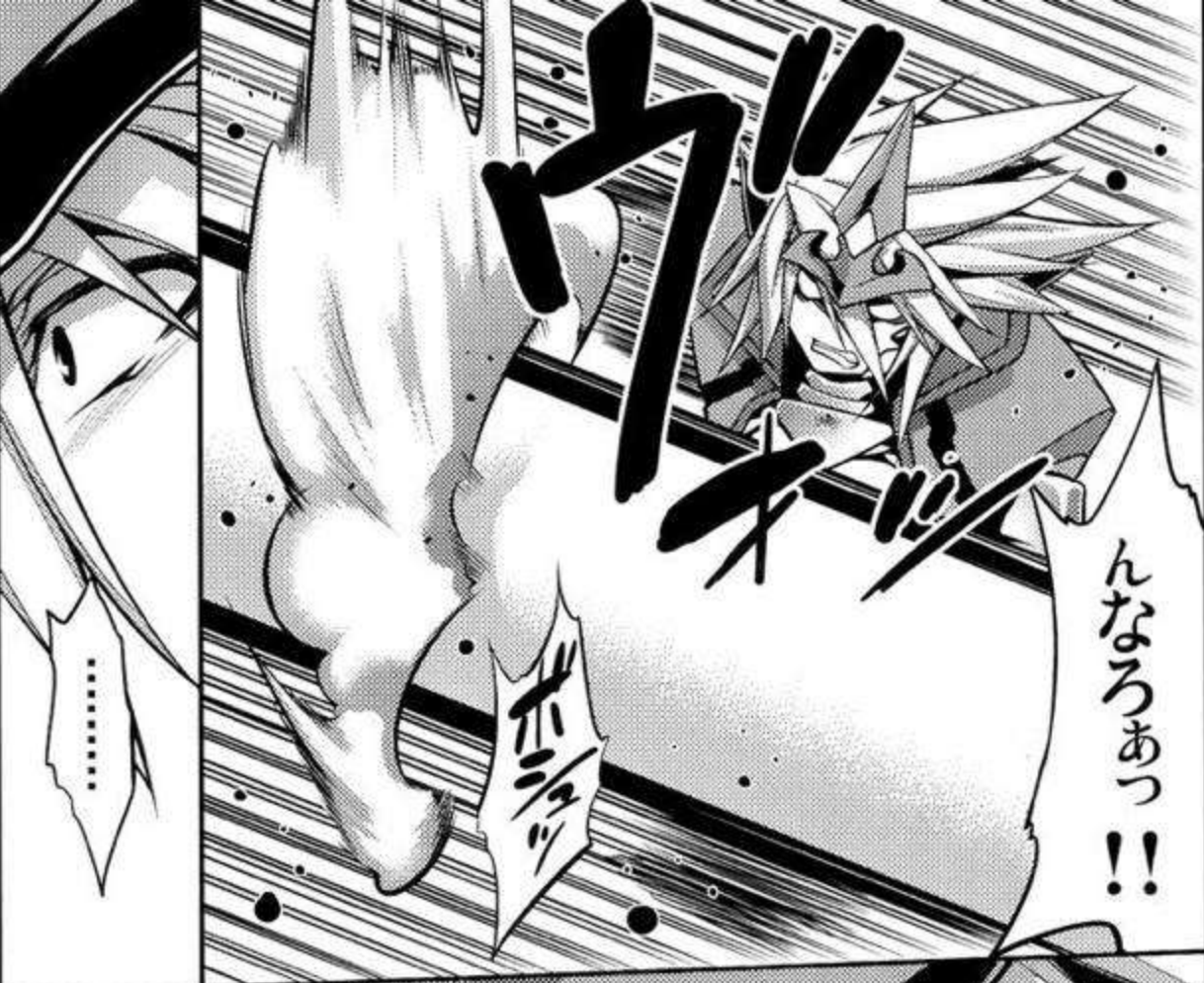
四

獲れ

ヴァルケンハイム

手前え……っ

……っ



んならあつ!!



こんな歪な人形に骨抜きにされるなんて「えいゆう」さんも困ったものね……



この「隙」をこじ開ける為だけに一瞬だけ「境界」から引つ張り出された訳か……



そういう事かよお面野郎……

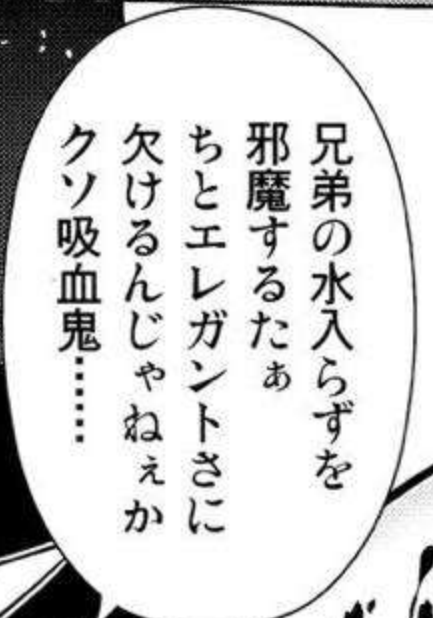


どちらも不愉快だからやめて頂戴



それよりも質問に答えなさい

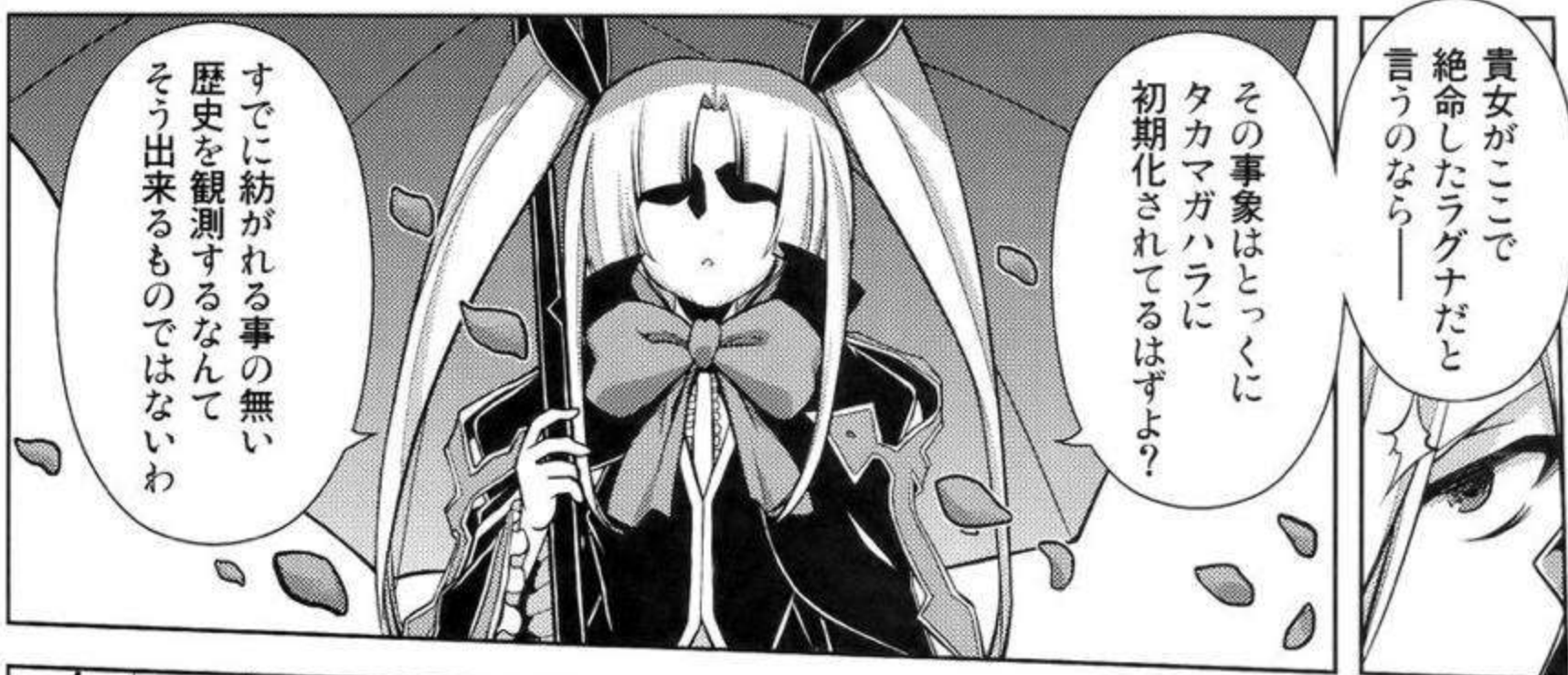
貴女を観測してるのは一体誰?



兄弟の水入らずを邪魔するたあちとエレガントさに欠けるんじゃねえかクソ吸血鬼……



おっと……この場合はウサギって呼んだ方が良いか?



あん？

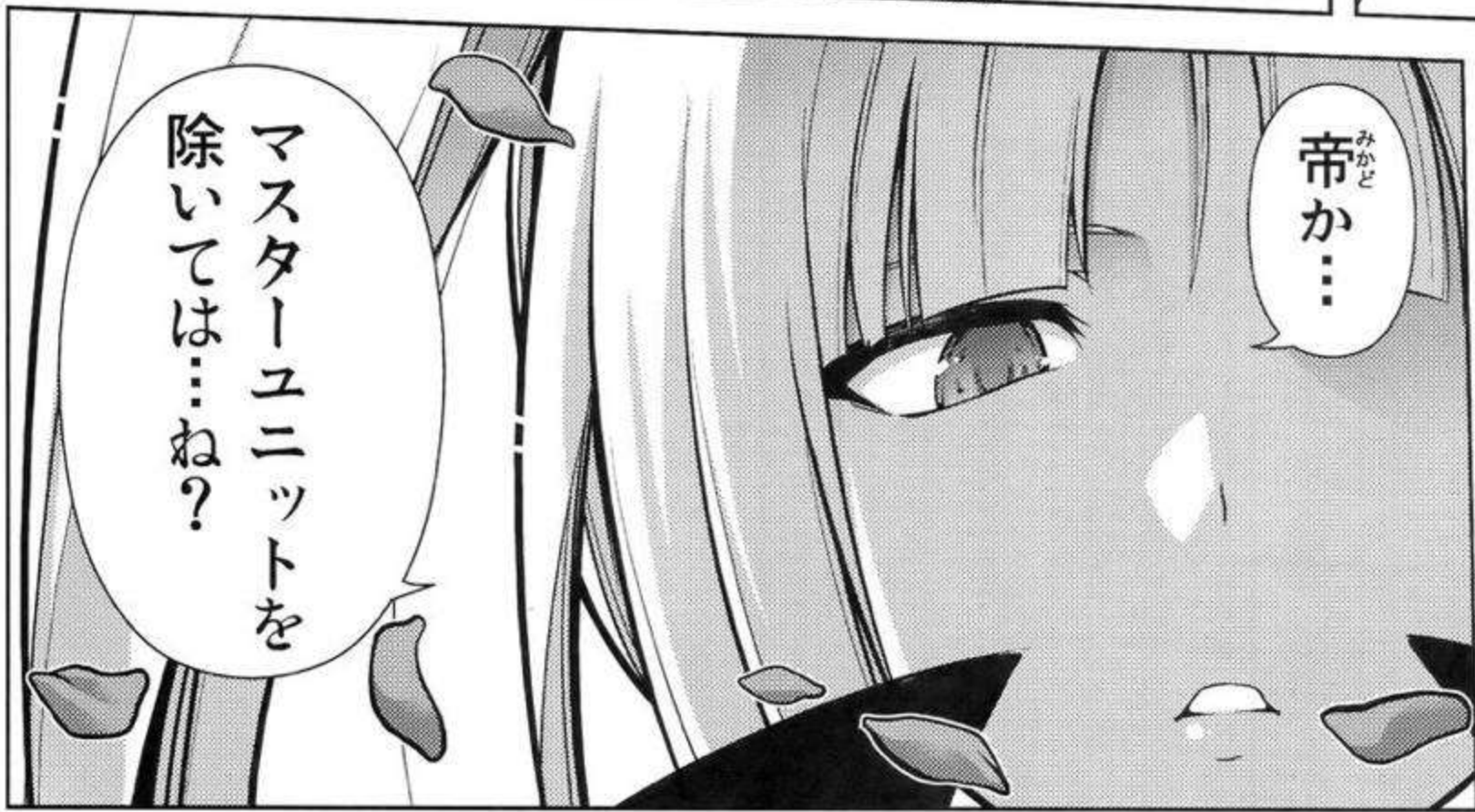
貴女がここで
絶命したラグナだと
言うのなら――

その事象はとっくに
タカマガハラに
初期化されてるはずよ？

すでに紡がれる事の無い
歴史を観測するなんて
そう出来るものではないわ



知ってどうすんだ
そんな事？



^{みかど}
帝か……

マスターユニットを
除いては……ね？



貴女……

まどか……



はっ



千年以上
「外」から世界を
観てきたって
割には――

チンケな
想像力だなあ
ウサギ……？



……
追いますか？

放って
おきなさい

それより
手当てが要るわ……
「えいゆう」さんは
勿論

ヴァルケンハイム
貴方にも……



！

バ
ン
ン
ン



一瞬とはいえ
ハクメン殿の奥義を
正面から受け捌き私に
追撃を届かせるとは……

あれは本当に
あの小僧
なのですか？

さあ……
それは問題では
ないわ

問題はあれを
どうにかするのは帝も
マスターユニットも
不可能という事よ



それも
「今のところは」という
話でしょうけど……



そんな……
そのような規格外を
放っておくと……？

観測者が私の
思う通りの者なら
心配は要らないわ

そいつには恐らく
「正史」をどうこうする
度胸なんて無いと
思うから……



も……
……
……



CHRONICLE OF BREAK BLUE

発行元:STUDIO TIAMAT

著者:TANABE

発行日:2018/08/10

印刷所:共信印刷

mail:tanabe@studiotiamat.sakura.ne.jp

URL:http://studio-tiamat.sblo.jp/

Scans by Super Shanko





**BREAK BLUE
TASTY "MAI" HEART
(EXTRA)** P3



BREAK BLUE P27
(2009)



**BREAK BLUE
CON-DOM-SHIFT** P55
(2010)



**BREAK BLUE
RAGNA-LOCK** P91
(2010)



**BREAK BLUE
BLOOD EDGE** P131
(2014)



STUDIO TIAMAT PRESENTS